

135市町村10万現金で 牛乳大量廃棄

135市町村「10万円現金で」

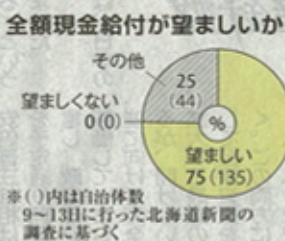
本社調査に意向

18歳以下の子どもに10万円相当を給付する政府の新型コロナウイルス対策について、道内の全179市町村の75%に当たる135市町村が「全額現金が望ましい」と考えていることが14日、北海道新聞の調査で分かった。全額現金を望む市町村の4割余りの59市町村はクーポンが使えない店舗が少ないことを理由に挙げた。現金5万円とクーポン5万円分を分けて支給するとした当初方針を岸田文雄首相が転換したことを受け、全額現金とする自治体はさらに増えそうだ。

(2面)一画日中に指針、3面自治体混乱、29面目的さらに曖昧)

調査は9、13日に聞き取りで行い、全市町村から回答を得た。「全額現金が望ましい」と答えた自治体は札幌や旭川など24市と釧路管内厚岸など10市、宗谷管内積丹など10村。

政府はクーポンの用途を教育や子育てに関連した商品とするが、「町内では使える場所がほとんどない。大都会とは違う」(後志管内二セコ町)と、小規模自治体を中心に59市町村が当該店舗が地域にはない、あるいは少ないと答えた。50市町村はクーポン発行の事実をめぐって、



小規模自治体「クーポン使えぬ」

政府は当初、年内に現金5万円を先行給付し、残り5万円分は年明け以降にクーポンで配布する方針を決めた。だが岸田首相は8日、「現金とクーポン」を原則として自治体の実情に応じて現金給付を可能にする方針を表明し、13日には全額を現金で年内一括支給することを認めるなど軌道修正を重ねた。政府は給付の実務に関する指針を15日にも自治体に通知する。

生乳大量廃棄の恐れ

需要低迷 過去最大級500トン

長引く新型コロナウイルス禍で乳製品の需要低迷が続く中、年末年始にも生乳が大量廃棄される懸念が強まっている。業界団体「ミルク(東京)」によると、廃棄に至る可能性がある量は約5千トンで、過去最大規模。廃棄が実行されれば15年ぶりにとなる。金子順一郎農林水産相は14日の記者会見で緊急の消費喚起策に取り組む方針を示した。

Jミルクの10月時点の推計によると、脱脂粉乳やチ

■コメ転作 交付金厳格化

転作支援の検討必要



国公 これが開きたい

神谷裕衆院議員(比例道ブロック、立憲民主)

主食用米の転作を促す水田活用の直接支払交付金の条件が厳格化されま

「コメを今後5年間作らない農地は対象外となります。米作りを再開しようにも、何年間も使っていない水利施設の整備や機械の更新などが必要で、水田に戻せない農家が出てくるでしょう」

交付金が農家の補助金頼みを助長しているとの指摘もあります。

「コメから麦、大豆などへの転作強化は国の減反政策によるものです。その結果、協力した農家が立ちゆかなくなつて営農を断念すれば、地域を出る人や耕作放棄地が増えて農村の過疎化につながりかねない。地域を維持するためにも、コメ以外の作物の生産を支援する仕組みについて改めて考える必要があります」

コメ減産 農家「経営成り立たぬ」

2022年産の主食用米の「生産の目安」が、前年目標比で12・2%減となったのは、コメの消費低迷に新型コロナウイルス禍が追い打ちをかけ、在庫が積み上がっているためだ。米価下落により供給を大幅に絞らざるを得なくなった形で、農家からは「経営が成り立たない」との声が聞かれる。生産意欲の低下につながる恐れもある。

(1面参照)

主食用米の需要は全国で約700万トで、パンや麺類など食の多様化で年間10万トずつ減少。コロナ禍でコメ余りが全国的に顕在化し、特に道内は今年の作況が108と全国で最高となったことも重なって、在庫量は膨らんだ。ホクレンによると、10月末現在の道産米の在庫は5万9千ト、適正規模の約3倍に上る。

後志管内蘭越町のコメ農家椿新二さん(72)は今年、主食用米から転作しようとしたが、飼料用米の種もみを手でできす水田約30畝のうち10畝を休耕した。「目安がさらに減ると2年前から予約していた主食用米の種もみが無駄になる」と肩を落とす。

農協組合長らでつくる北海道農協米対策本部は、ここ数年の作付け減少により徐々に在庫が適正化するとみて23、24年産米は増産に転じる方針を示しているが、コロナ禍収束の見通しが立たない中、不透明な状況が続きそうだ。

(生田憲、堀田昭一)

3月から順次実施

「顧客守る」企業申請 年度替わり様子見も

政府が3回目となる新型コロナウイルスワクチンの追加接種の申請受け付けを13日に始め、道内企業や大手の一部が申請を済ませるなど実施に向けた準備が進んでいる。また、1、2回目接種ではワクチンの供給遅れで接種がずれこむ影響が出たほか、追加接種開始が来年3月のため、教育現場では年度替わりの時期で卒業生や新入生の接種希望の把握が難しいこともあり、「様子見」をする経営団体も少なくない。

(1面)田中進久、麻植文佳

3回目接種 道内温度差

新型コロナウイルスのワクチン追加接種を巡る道内企業・大学の対応

実施予定	検討中
北洋銀行、北海道銀行、中和石油、アインHD、サツドラHD、アイクスHD、北海道情報大、北海道医大、北海道千歳リハビリテーション大	北海道電力、北海道ガス、JR北海道、札幌丸井三越、トヨタ自動車北海道、室蘭工大、北大

中野市の製造業員約4100人の接種を予定しており、担当者は「学生や市民の安心につながる」と話す。今年6月、道内大学のトップを切った接種を始め、学生や教職員のほか住民ら計約6千人を対象にした北海道医療大(石狩管内別町)も近く追加接種を申請する。

1、2回目接種ではワクチンの供給が遅れ、現場に混乱を招いた。別町地区の企業や大手のワクチン申請は今年6月21日に開始。道内では、道内では今年6月21日に開始。道内では、道内では今年6月21日に開始。道内では、道内では今年6月21日に開始。

今年の漢字「金」



水の上で知られる京都府京都市の清水寺で、森清範(65)が「金」の漢字を筆で書いた。清水寺で「今年の漢字」が「金」に決まったと発表した。「清